

令和8年度「男女共同参画社会づくり表彰」 受賞者の活動概要及び受賞理由

【ハーモニー賞】 柴田 昭子 氏 (住所：潟上市)

◆活動概要及び受賞理由

平成23年に潟上市の市民協働による男女共同参画関連事業の推進組織「潟上市ハートフル実行委員会」委員に就任以降、途中委員長職も務めながら創造性ある企画を提案し、事業の推進に尽力されています。また、同市の男女共同参画推進審議会、子どもの貧困対策協議会ほかの委員を歴任し、行政の方針を施策として実現する際に民意を反映させる大きな役割を担っています。この間、県認定の「あきたF・F推進員」としても精力的に活動されています。

女性の参画が少ない分野での先駆的な活動も多く、平成19年には女性として初めて県内公立高等学校のPTA会長に就き、後進のモデルとなりました。近年では、町内会役員として組織の改編や課題解決に取り組むほか、土地改良区理事にも就任しています。

こうした幅広い活動は、様々な分野にまたがるネットワークの形成につながり、多様な住民の男女共同参画に関する意識の向上に影響を及ぼしているなど、その功績は大きいと評価されました。

【チャレンジ賞】 一般社団法人雄勝建設業協会女性部会はなこまち (所在地：湯沢市)

◆活動概要及び受賞理由

平成30年6月、先駆の平鹿地区に次いで間もなく設立され、より良い職場環境づくりのための提言や、建設業に携わる女性の技術力、社会的地位の向上に向けて活動されています。

自らの設立で同趣旨の団体が複数になったことを契機に、県全域のネットワーク形成に取り組み、建設産業女性活躍ネットワーク「クローバー」の結成につながっています。また、どこの地区でも同様の活動ができることを示し、後に県全域に普及した女性部会のモデルになるとともに、後進地区の女性部会への支援を行い、活動の底上げに尽力されています。

コミュニティFMラジオでの定期的な情報発信や、高校での建設業体験フェスタでドローン操作体験を交えて女性が担う業務を紹介するなどの特徴的な活動の継続により、建設業に対する理解の拡大はもとより、女性も選択可能な職業としての認識の向上に寄与されています。

こうした活動は、男性中心の建設業にあって、女性の入職促進とスキルの向上、両立支援環境の整備を加速化し、ひいては男性の育児休業取得の促進にもつながるなど大きな影響力があるものとして、高く評価されました。